

歴史は未来の羅針盤

温故知新

これまでに刊行しました『近江日野の歴史』は、第一巻「自然・古代編」、第二巻「中世編」、第三巻「近世編」、第四巻「近現代編」、第五巻「文化財編」、第六巻「民俗編」、第七巻「日野商人編」、第八巻「史料編」となりました。教育委員会や各公民館において、一冊四千円で好評販売中です。ぜひ、お買い求めください。

絵図・要覧編のあらまし

『近江日野の歴史』第9回配本の第9巻「絵図・要覧編」は、平成27年1月に刊行予定です。平成14年度より進めてきました日野町史編さん事業も、「絵図・要覧編」の刊行をもって完結を迎えます。

「絵図編」では、色鮮やかな絵図・地籍図をカラーで収録、これらの絵図資料に加えて、地名・水利調査の成果をいかしながら、日野の地域社会像を描き出します。

「要覧編」では、総索引や年表、統計資料などを掲載します。

絵図編のおもな内容

第一章「さまざまに描かれた日野」では、江戸時代から明治時代にかけて作製された町域にかかわる絵図・古地図を紹介します。とりわけ、山野・川・町や村の様子など、日野の暮らしの中で作られた絵図に焦点をあてて、当時の景

観や人々の空間認識のしかたなどを紹介します。

第二章「明治の地籍図からみる町・村の景観」では、明治時代前期に作製された地籍図を用いて、ほ場整備前の景観を復元します。地籍図は、土地の所有関係を示すための公的な地図のことで、租税・土地制度改革（地租改正）に伴って作製されました。本章では、各大字の地籍図カラー写真（一部空中写真）を口絵に掲載するとともに、地籍図から復元したカラー小字図を収録、これらをもとに各大字の歴史・文化・地形・環境などについて解説します。

第三章「水利景観からみる開発の歩み」では、日野町の基本的な地形について解説するとともに、町内各大字のご協力を得て平成16年から21年にかけて実施した地名・水利調査の成果をふまえ、町域の灌漑水利の特徴や、地域の開発の歴史について詳述します。



▲河原村地券取調惣絵図（部分）

要覧編のおもな内容

要覧編は、日野の歴史を知りやすいように、総索引、年表、統計資料などで構成されます。

総索引は、第1巻から第8巻までの各巻に記載された人名、町内の地名・社寺・施設等、日野特有の歴史的事項などに特化しました。キーワードから知りたい項目が一

目瞭然となります。

年表は、日野での出来事を中心に作成します。各出来事が記載された巻数と頁数を併記しますので、詳しく調べたい場合に便利です。

統計資料では、行政区の変遷、人口・世帯数の推移、町村長の一覧、指定文化財や社寺の一覧など、何かと便利な一覧表を掲載します。

なお、付録CD・ROMには、町内に残された色鮮やかな絵図や地籍図、要覧編と同じ年表などを収録し、付図として各大字の小字図を統合した全町小字図、および主要な水路・溜池を示した全町水利図が付きまます。

近江日野の歴史販売中

販売と予約のご案内

『近江日野の歴史』各巻の販売価格は4,000円（税込み）です。なお、「絵図・要覧編」につきましては、平成26年10月末日までに予約申込みいただきますと、3,800円の割引価格にて販売いたします。また、最終巻が無料となる全巻セット購入も受け付けております。詳しくは、後日配布いたしますリーフレットをご覧ください。